

となりぐみ 21

大森西地区地域情報紙

《発行》
地域力推進大森西地区委員会
《編集》
となりぐみ21編集委員会
《事務局》
大田区大森西特別出張所
所在地：大森西2-16-2
電話：3764-6321
大森西管内人口 令和7年8月1日現在
人口：61,508名
世帯数 37,328世帯

【ホームページ版「となりぐみ 21」開設中!～ぜひご覧ください～】

大田区ホームページ 地域情報紙となりぐみ21

検索

大森西地域力推進センターがオープン!

大森西地区の新たなシンボルとなる大森西二丁目複合施設（呼称大森西地域力推進センター）が六月十六日に第Ⅰ期新築工事竣工を無事に迎え、九月十五日の開設セレモニーを経て、十六日より全施設とも運用が開始されました。第Ⅰ期では大森西特別出張所、大森西区民活動施設、大森西保育園、地域包括支援センター大森、大田区シルバー人材センター大森分室、大田福祉作業所大森西分場の6の施設が入っています。



大森西区民活動施設には体育室、多目的室、音楽スタジオが設置され、多世代の方が集い、交流する拠点となることが期待されます。また、施設の中庭には天然芝を敷き詰めた芝生ひろばが整備されています。好天であれば青々と茂った緑と吹き抜ける風を感じることもでき、地域の方の憩いの場となります。



これまで地域の拠点として根付き、愛されてきたならば大森の校舎は老朽化のため、今後解体させていただきます。その跡地で第Ⅱ期新築工事に移行されます。



将来、新たに建設される施設内には区民活動支援施設大森や子ども交流センターなどが入室予定です。完成後、毎日子ども達の笑顔や笑い声が聞こえ、施設利用者の方が多く訪れることで、さらなる大森西地区のにぎわい創出や発展につながると思うと施設の完成が今から待ち遠しいです。

大森西地区にはふれあいフェスタの会場である大森ふるさとの浜辺公園や平和の森公園、地域の歴史を伝承する大森海苔のふるさと館、今もなお当時の面影を残し、多くの店舗が軒を連ねている旧東海道、区民の憩いの場である銭湯も数多く存在します。そして、10月に開催している区内最多21自治会・町会を中心に地域の関係団体が参加する「ふる浜まつり」を開催しているなど多彩な魅力を有し、活気あふれる地域です。

本施設が、長く地域のランドマーク的な存在であるよう管理及び運営を行ってまいりますので、一度足をお運びください。

今年もふる浜まつりを開催いたします

大森西地区自治会連合会主催のふる浜まつりを今年度も開催いたします。今年で9回目の開催となり、地域の皆様に広く親しまれていて、大森西地区最大のおまつりです。野菜・卵・お米の販売や模擬店・無料ゲームコーナーなど、子どもから大人まで楽しめる企画を準備中です。ぜひ、お越しください。



第9回 ふる浜まつり

令和7年 10月12日 (日曜日)

☀️ 大森ふるさとの浜辺公園 10時～14時

☔️ 雨天時 大森東小学校 10時～12時

ぜひ、皆様お誘いあわせの上、お越しください!



詳細については
こちらの二次元コードより
ご確認ください。

ゴミ出しのルール

近頃、町内の所々でカラスによる被害が見受けられます。カラスはゴミを漁ってエサとなるものを見つけると『食事があるからここに集まれ』と鳴いて仲間知らせに集まらせます。カラスがゴミ集積所に集まりゴミを食い散らかします。

この食い散らかしたゴミは一体誰が片づけるのでしょうか？



カラスのゴミ被害に合わないためにゴミ出しのルールを守りましょう。

- 一、八時前にはゴミ出しをする
*ゴミ収集車の集荷後はゴミを出さない事
- 二、可燃ゴミ、資源ゴミ、プラスチックとしっかり分別する事
- 三、ゴミ出しの曜日をしっかりと守る事
- 四、ゴミ袋が防鳥ネットからはみ出ないようにかぶせる事
*防鳥ネットの上にゴミを捨てない事

各個人がゴミ出しのルールを守りながらカラスによるゴミ荒らしの被害を防ぎましょう！

写真: https://www.kanryo.metro.tokyo.lg.jp/nature/animals_plants/crow/crow_measure

浅間神社例大祭 神酒所

六月七日・八日と浅間神社の例大祭が執り行われました。

澤田東町会では例年のとおり、沢田東児童公園内に神酒所を設けて、お祭の参加者を接待し、澤田囃子連と澤田睦のお囃子や町会山車の運行他を行いました。

神酒所の設営は町会の役員総出とはいかず、町会長を先頭に十名前後で、六日の朝から夕方までまる一日かけて祭壇、奉納板、接待や賄い用のテントを組み立て、電源や照明の配線を行いました。



今年は班長さんなどの四五十代の若手！の協力があつたので、作業も順調に進み、女性役員他による賄いの準備もとのい、祭を迎えることができました。来年は町内神輿も練る予定なので、町会員の皆さんの一層のご参加をお願いします。

大森澤田東町会 花館 敏雄

フランス シャモニーで 会った人々

ヨーロッパ最高峰モンブランを眺めるアルプス登山をめざす拠点となる素敵な町シャモニー。夏は各国から避暑を求めて訪れる人は多く、また各国のクライマーは名峰モンブランはじめ、大岩壁に登りに。

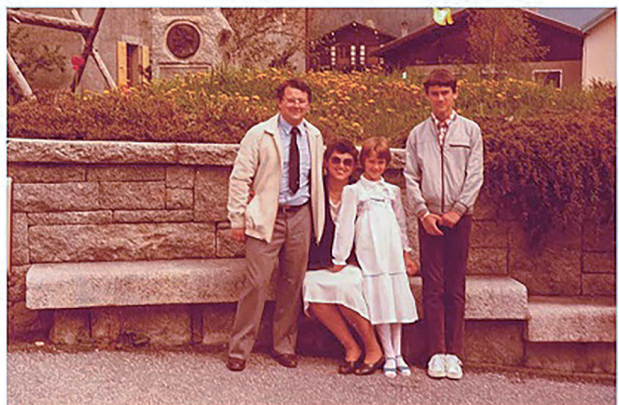
初めてのシャモニーは一九七三年夏、アルプス三大北壁のグランドジョラス北壁登攀を計画。まずシャモニー在住、登山用品店の斎藤さんにはキャンプ用の天幕をお借りした。同店に勤務していた関野さんにもお世話に。

キャンプ場では、日本人が集中していた所と離れた場所に幕営。するとフランス人の子供たちが僕らの所に遊びに。その子供たちはシャモニーのアパートに住み、ある日曜日、僕と先輩を招待することに。

また別の子供の家族には、ニースに実家があるのでぜひ来て欲しいと。後日その家を訪ねると大歓迎してくれ、一棟を僕らにあてがってくれるほどの大富豪だった。

この年の山は、グランドジョラス北壁では日本人別パーティの墜落事故のため登れず、モンブランのほか、アイガー、マッターホルンの登頂などで二カ月半の登山生活を終了した。後年、数回のシャ

モニーでは数々の人に会うことになる。



ジャンクロード家族



アイガーで会った老夫婦グループ

小学生を見守る 見守り隊

朝の小学生の登校時間（七時四十五分）月曜日、金曜日、時には土曜日にも）に合わせてスクールゾーン（大森西四丁目十八番、十七番）に見守り隊が出動する。雨の日も風の日も炎天下の夏も、極寒の冬も、時には体を張って車からそして、猛スピードの自転車から子どもたちを守っている。その名は「見守り隊」。

スクールゾーンにお住いの老夫婦がされていたことを誰言うともなく引き継がれて現在は河田良子邦西町会女性部長と佐藤匡司さん幸子さん夫妻の3人が見守りにあたってくださっている。

時には貧血や腹痛に見舞われた子の対処をすることもあるという。本当に貴重な役割を担っている。ただいいて感謝に堪えない。

しかし「見守り隊」はこどもたちの成長過程を見ていられることが大変楽しく嬉しいのだと言われる。この心優しく、遅く美しい「見守り隊」の心に続きたいものである。



大森邦西町会 丸山 かよ

大森町自治会 平林 孝次